2019 | Winter

SAFETY ANZEN

自動車整備の最新がわかる ANZEN NEWS

CHARGE VOL.82

01 TOP MESSAGE
次なる100年へ。
変わらぬ想いで、安心と信頼をご提供します

02 ユーザーズレポート

02 | 小型 Honda Cars 北陸　富山新庄店

04 | 大型 株式会社滝川自工　北広島工場

06 | サービス トヨタカローラ中京株式会社
豊田研修センター

08 新商品のご紹介

TOP MESSAGE
次なる100年へ。変わらぬ想いで、安心と信頼をご提供します

新年あけましておめでとうございます。弊社は昨年5月3日に創立100周年を迎えました。100年という歴史を積み上げることができましたのも、皆様のご支援ご愛顧の賜物と心より感謝申し上げます。

自動車業界が大変革に挑む中、100周年を迎えた弊社も新たなステージに立ちました。これからも全社員の“人間力”向上に努め、100年の歴史で培ったお客様との繋がりをより強く、より一層ご満足していただける活動ができるよう心がけてまいります。

2019年はオートサービスショーが開催されます。業界内で注目されている人手不足や高齢化などの問題を改善する“いま、求められる商品”をご提案するべくオートサービスショーに向けた活動を開始いたしました。皆様のご来訪をお待ちしております。

これからもご指導とご鞭撻を賜り、ご期待に沿えるよう社員一同全力を注いでいく所存でございます。本年も皆様の益々のご健勝ご活躍をお祈り申し上げます。

代表取締役社長 中谷 宗平

NEW 新商品紹介

新発売

ファンタスリフト（溶融亜鉛メッキ仕様）
WBSC32KV

- 高い耐水性を持つ亜鉛メッキ仕様のファンタスリフトがラインナップ追加
- サビや腐食に強く、点検前の下処理や整備後の洗車作業などに便利

新発売

無線式 ブレーキポンピングツール
BPT-02-01

※外観は変更となる場合がございます

- ブレーキフルード交換を2人作業から1人でラクラク
- エンジンをかけなくても作業ができるため、オイル交換や下回りの塗装などが同時に作業可能
- ペダル式に加えて無線リモコン式が新登場!
- ペダルの移動が不要となり、取り回しや作業性がアップ

新発売

ウイング PFZ265
WING PFZ265

- 10~27インチまで切替なしでワンストロークチャッキング
- 高剛性の支柱とロックシステムで多様な扁平タイヤに対応

ヨーロピアン方式

適用リム径 10～27in

新発売

ウイング CL-121
WING CL-121

- タッチレス（非接触）機能搭載のため、ホイールに接触することなく作業可能
- ホイールセットはワンタッチで瞬時に固定

センタークランプ方式

適用リム径 12～30in

ANZEN 安全自動車株式會社
〒108-0023 東京都港区芝浦4-16-25
TEL(03)5441-3412 FAX(03)5441-8848
ANZENホームページ http://www.anzen.co.jp

札幌支店	札幌市中央区南19条西8-2-21		TEL(011)511-6241(代)
釧路営業所	TEL(0154)24-0161(代)		
仙台支店	仙台市宮城野区日の出町2-2-8		TEL(022)236-1211(代)
盛岡営業所	TEL(019)637-8711(代)	郡山営業所	TEL(024)942-5311(代)
関東支店	戸田市氷川町2-8-31		TEL(048)447-6881(代)
水戸営業所	TEL(029)241-0932(代)	宇都宮営業所	TEL(028)635-8821(代)
新潟営業所	TEL(025)274-7131(代)	高崎出張所	TEL(027)384-3001(代)
東京支店	東京都港区芝浦4-16-25		TEL(03)5441-3413(代)
千葉営業所	TEL(043)284-2600(代)	横浜営業所	TEL(045)391-9913(代)
名古屋支店	名古屋市中川区山王1-4-30		TEL(052)559-2471(代)
金沢営業所	TEL(076)248-0499(代)	静岡営業所	TEL(054)236-5066(代)
大阪支店	大阪市西淀川区御幣島2-1-14		TEL(06)6472-0361(代)
岡山営業所	TEL(086)434-0259(代)	広島営業所	TEL(082)832-3630(代)
高松営業所	TEL(087)843-6531(代)		
福岡支店	福岡市東区多の津3-7-7		TEL(092)623-4646(代)
南九州営業所	TEL(096)370-7011(代)	沖縄営業所	TEL(098)876-3873(代)
(株)松本安全	松本市大村383-11		TEL(0263)45-2181(代)

保守点検のおすすめ　ANZEN製品を長くご活用いただくため、保守点検サービス（有料）のご利用をおすすめします。お近くの支店または営業所までお問い合わせください。

ANZENカスタマーサービス　0120-01-6361　当社の製品およびサービス、その他に関するお問い合わせは左記へ。受付時間：月～金（AM9:00～PM5:00）

ANZEN で 検索
http://www.anzen.co.jp

●発行所／安全自動車株式会社　マーケティング部　東京都港区芝浦4-16-25
●ANZEN NEWS CHARGE 82号（2018年12月28日発行）

※外観・仕様は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

VEGETABLE OIL INK　UD FONT

ホンダカーズ北陸 富山新庄店

『喜びの創造と拡大』という使命を掲げ、全てのお客様へ質の高いサービスを提供することに全力を尽くすホンダカーズ北陸。多様化するお客様のニーズに応えるため、2店舗を統合し、大型店舗となる富山新庄店を開設しました。

●店舗情報
ホンダカーズ北陸
富山新庄店
富山県富山市新庄町2-7-25
TEL：076-441-6677
従業員：23名
（サービス：10名）

●今回お話を伺った方

サービス部　部長
お客様相談室　室長
藤坂　幸雄

富山新庄店
店長
神田　謹治

富山新庄店
工場長
山下　健夫

CSとESを追求し、お客様の期待に応える工場作りを実現

ホンダカーズ北陸は生産性とCS・ES向上を図るため2店舗を統合し、2018年7月、旧店舗の敷地に新店舗となる富山新庄店を開設しました。工場美化や労働環境改善に尽力し、お客様にとっても従業員にとっても居心地の良い店舗となっています。ショールームとサービス工場は通路を隔てて配置されており、来店されたお客様は車の整備状況を確認できるよう「見える化」されています。「サービス工場は整理整頓に力を入れ、工場美化に取り組んでいます。魅せるサービス工場として、お客様により高い安心感と満足感を提供したいと思っております」（神田店長）。

最新設備を導入し、働きやすい工場へ

白を基調とし、清潔感あふれるサービス工場は9ストール＋洗車ストール＋1検査ラインでレイアウトされています。整備機器については、業務効率化とメカニックの負担軽減を考慮し選定しました。

検査ラインには〝カラー画像処理方式全自動ヘッドライトテスター〟や〝ハイブリッドテスター〟、4WDの車種にも対応できるよう〝多軸フリーローラー〟などの機器を導入し、トータル車検システム〝ラインマスター〟により制御しています。「今までは測定ごとに手書きで記録していましたがシステムを導入したことにより、以前に比べ1台あたり10～15分時間が短縮され、効率よく正確に検査できるようになりました」（山下工場長）。リフトはドライブオンタイプの〝マルチリフト〟や重整備など様々な作業に対応する〝アルネオリフト〟を導入し、整備内容によって使い分けされています。また、門型洗車機〝ジスペクト〟と自走式〝下部洗浄装置〟を設置し、工場内への雪や融雪剤の進入を防ぐことで、冬場のメカニックの負担軽減に貢献しています。洗車ストールには、洗車の際に周りのストールへ汚水が飛び散らないよう電動洗車カーテンで区切れるよう工夫されており、工場美化に尽力しています。「綺麗な工場で整備することによって、自分の車がより綺麗になって帰ってきたと感じて欲しい。お客様の大切な車をいつまでも新車同様の状態で乗っていただきたい。そのお手伝いができればと考えております」（山下工場長）。

CS・ESのさらなる向上を目指す

「働く環境はとても重要だと考えています。先進機器を導入することで従業員の意欲も向上し、それによってサービスにも力が入ると考え、今回最新機器を導入させていただきました」（藤坂部長）。工場美化と効率化を考え、作業環境の改善に力を入れる同店。働きやすい環境づくりで従業員のモチベーションアップを計り、さらに高品質なサービスをお客様へ提供していきます。

営業担当者の声

新工場に建て替えるにあたり「効率よく、働きやすい整備工場を作りたい」というホンダカーズ北陸様の想いを強く感じ、その想いに少しでも近づけられるよう、細かなところまでお手伝いさせていただくことを心掛けました。今後は導入した整備機器をフル活用していただけるよう、メンテナンスの面でバックアップしていきたいと思います。

左：山下工場長　右：金沢営業所　野畑

▲降雪地帯のため4WD車の入庫が多い同社は“多軸フリーローラー”を設置。トータル車検システム“ラインマスター”で制御し、“ハイブリッドテスター”や“カラー画像処理方式全自動ヘッドライトテスター”などのフルスペック機を導入

▲クイックに下回りの点検ができる、ドライブオンタイプの“マルチリフト”を設置し、作業効率を向上

▶門型洗車機“ジスペクト”に自走式の“下部洗浄装置”を設置。冬場のメカニックの作業負担軽減に寄与

▶プレート受け台・アーム兼用〝ファンタスリフト〟は様々な車種の整備に使用

◀〝洗車対応アルネオリフト〟は車両下部の洗浄をサポート。冬期は入庫前に洗浄することで、工場内の雪の進入や融雪剤による錆を防止

▲メカニックの作業動線を考え、ストール横に2本ずつ設置された“スポットクーラー”。暑い時期も快適に作業が可能

株式会社滝川自工 北広島工場

株式会社滝川自工は、大型・小型車両の整備や板金塗装、販売などを手がける道内屈指の整備事業者です。札幌工場、西工場、北広島工場の３拠点を持つ同社は、2017年10月に北広島工場の敷地内に整備工場を新築。労働環境に配慮した最新設備を備え、対応力を強化しています。

●店舗情報
株式会社滝川自工
北広島工場
北海道北広島市大曲工業団地2-3-17
TEL：011-376-3030
従業員：65名（メカニック45名）

●今回お話を伺った方

専務取締役
滝川 勲伯様

「お客様第一主義」をモットーに。確かな品質と対応力で、安心と信頼をご提供

１９４７年の創業以来、現在に至るまで一貫して『より良いカーライフをご提供する企業へ』というスローガンを掲げる株式会社滝川自工。そのスローガンのもと、お客様へ高品質なサービスを提供し、地域の車社会を支えています。取り扱い車種は小型車から大型特装車、輸入車まで多岐に渡り、対応力と技術力の高さでお客様の信頼に応えるサービスを提供しています。社内教育に力を入れる同社は、メーカーへ直接出向いてアルミ溶接や特装車の点検整備といった専門知識の研修・資格取得を実施。「当社の強みはできる限りお客様のご要望に応えること。商用車は特に時間が重要なので、良いサービスをどこよりも早くご提供できるよう努めています。時間を短縮するためにはすべての作業を効率化する必要があり、技術力向上はもちろん、省力化や効率化に繋がるツールを積極的に採用しています」（滝川専務取締役）。

作業性を考慮した工場づくりで効率化・省力化を実現

整備工場の新築にあたり、国内で初めての設置となったＯＭＥＲ（オメル）社製の大型車用〝ドライブオンリフト〟や移動式〝モバイルコラムリフト〟のほか、１柱式〝洗車対応テストリフト〟を含め、効率化に繋がる設備や整備機器を多数導入しています。

〝モバイルコラムリフト〟は平ストールに設置され、クイック・下回り整備などに活用されています。「以前に比べ、作業効率が向上しました。立ったまま作業ができるので、メカニックの身体負荷の軽減につながり省力化できていると思います」（滝川専務取締役）。また、〝ドライブオンリフト〟については「トレーラーを連結したままリフトアップできるので便利です。車両下部に潜る姿勢が極端に減った上、オイル交換作業も手が掛からず良いですね」と、滝川専務取締役。

ハード・ソフト両面から改善し、働きやすい環境を創出

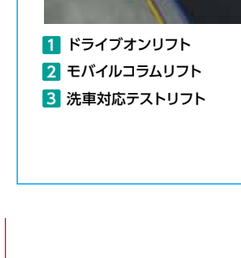
同社は３０社以上の指定工場となっており、２０１７年度の年間入庫台数は約５３，０００台。そのうち、北広島工場の年間入庫台数は約１４，０００台を担っています。「入庫台数は整備工場を新築して以降さらに増えていますが、その半面、残業時間は大幅に削減しています。シフト作りから社内体制を改善するなど環境改善を行い、スタッフ一人ひとりのスキルや時間を大事にするよう考えています」（滝川専務取締役）。同工場では工程管理を綿密に行い、作業を〝見える化〟することで業務の偏りを減らし、メカニック同士がフォローし合える体制作りに力を入れています。ハードとソフトの両面から改善することで、スピーディーな作業を実現し、お客様の期待に応え続けています。

営業担当者の声

今回、北広島工場の新築にあたり、当社の最新機器を選んでいただき大変嬉しく思います。新工場は安全性や作業効率、省力化などを考慮し日本第１号機となるドライブオンリフトやモバイルコラムリフト、回転工具台車などを導入させていただきました。これからも最新機器のご案内やアフターフォロー含め、少しでもお役に立てるよう努めてまいります。
（札幌支店　齊藤）

左：札幌支店 立麻　中央：齊藤　右：滝川専務取締役

▶フラットなストールがあればどこでも使用可能な“モバイルコラムリフト”。車両下部点検・塗装など幅広い整備に対応



◀メカニック1人でも移動・セッティングが可能

▶“回転工具台車”に名称ステッカーを貼り付け、取り間違いを防止。整理整頓で作業を効率化

◀タンクローリーやミキサー車など、さまざまな特装車が入庫する

▶大型車用〝ドライブオンリフト〟はピット式設置とし、リフト上昇時も作業スペースがフラットとなる仕様。スピーディーに作業ができ、作業性が向上

1 ドライブオンリフト
2 モバイルコラムリフト
3 洗車対応テストリフト

掲載機器の詳細カタログはこちら

▲洗車対応“テストリフト”は中・大型車のクイック整備に活躍

［整備機器講習会レポート］

トヨタカローラ中京株式会社

豊田研修センター

愛知県内に27拠点を有するトヨタカローラ中京株式会社。「オール中京 未来に向かって果敢に挑戦」というスローガンを元に、新たなことに挑戦し、お客様との絆づくりに力を入れています。

●店舗情報
トヨタカローラ中京株式会社
豊田元町店
愛知県豊田市広久手町3−1−2
TEL：0565-33-7951
従業員数：17名（エンジニア6名）

GRガレージ豊田元町
TEL：0565-33-7952
従業員数：4名（エンジニア3名）

●今回お話を伺った方

サービス部
サービス技術グループ GM
TOP CREW
係長
堀切 晶 様

日々の点検が事故を防ぐ。日常点検のポイントを学ぶ「整備機器講習会」

今回訪問したトヨタカローラ中京株式会社豊田元町店様にて、各店舗のエンジニアリーダーを対象に「整備機器講習会」を開催。トヨタカローラ中京株式会社様では、毎月1日に全拠点のエンジニアリーダーが全ての整備機器の状態チェックを行っています。今回、事故や不具合を未然に防ぐことを主旨として豊田元町店、同建物内の研修センターにて整備機器講習会を実施。安全対策に力を入れている同店にこれまでの経緯や今後の展望についてお話を伺いました。

●整備機器講習会スケジュール

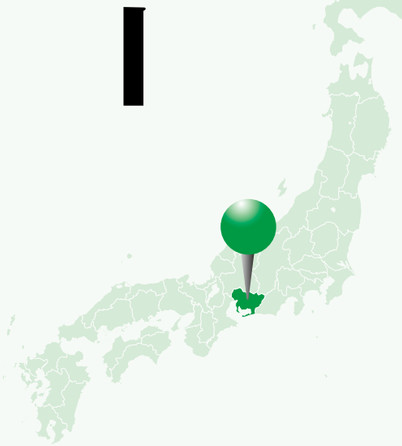
座学講習
・整備機器の正しい取扱いについて
・メンテナンスの重要性について

↓

実機講習
・リフト／エアコンプレッサー

↓

DVD視聴
・リフト事故防止啓発について



―「整備機器講習会」を開催した経緯についてお聞かせください

堀切係長　日々のメンテナンスは、お客様の信頼を得るためにとても重要だと考えています。実際に故障や事故を経験したことがあるエンジニアは日常点検の重要性を認識していますが、経験の少ないエンジニアは認識が不足している場合があります。今回「整備機器講習会」を開催していただいたのは、エンジニア一人ひとりに日常点検の重要性を認識してもらうためです。以前、メンテナンスが疎かになり、エアコンプレッサーが故障してしまったことがありました。それによって、整備作業が立ち行かなくなり、お客様へご迷惑をおかけしてしまいました。これはお客様の大切な車を預かる上で、あってはならないことです。最近は若いエンジニアも増えていますので教育も含め、従業員全員に安全に対する意識を高めてほしいと考えています。

―自社で実施している点検内容などについてお聞かせください

堀切係長　毎月1日にエンジニアリーダーに全ての整備機器の状況を確認させ、チェックリストに記入、店長の確認後、本部へ報告しています。店舗から送られてきた監査結果表を本部がチェックし、詳細を店舗にヒアリングします。その機器がきちんと修理され、問題なく使用できるようになったかどうかを確認しています。しかし、私たちは車のプロであって整備機器のプロではありません。もし、異音等が発生していたとしても、私たちでは判断がつきません。その際は、整備機器の専門家に都度、点検依頼をお願いしています。

―整備機器のメンテナンスを行うことでどのような効果を期待しますか

堀切係長　エンジニア一人ひとりの意識が改善されることで、メンテナンス不足による整備機器の故障や事故が減少することを期待しています。そうすることで職場の環境改善にも役立つでしょう。お客様からの信頼を損なわないためにも、車を扱うプロとして、整備機器にも気を配ってほしいと思っています。従業員全員に、自分たちで未然に防げることは確実に防ごうという思いを持ってほしいです。

―今後の展開についてお聞かせください

堀切係長　エンジニアリーダーが先頭に立って、講習会で学んだことを他のエンジニア達に指導し、日常点検は安全に作業をする上で必要不可欠だということを理解してほしいです。また、日常点検で整備機器の故障に気づくことができればお客様にご迷惑をおかけすることも、事故が起きてエンジニアが怪我をしてしまうことも減らすことができます。「整備機器講習会」をきっかけとして一人ひとりの安全意識を高めると共に、エンジニアが安全で安心に作業できる環境づくりを創出していきたいです。

営業担当者の声

「整備機器講習会」を開催させていただき、有難う御座いました。トヨタカローラ中京様内でこの講習会をきっかけに整備機器の日頃のメンテナンスの重要性やエンジニアの方々の安全意識を高めるためのお手伝いができたのなら当社としても大変嬉しく思います。今後とも提案・アフターサービス含め、より一層お役に立てるよう努めていきたいと思います。

（左：名古屋支店 堀内　右：堀切係長）

整備機器講習会運営グループより

整備機器の安心・安全なご使用を

整備機器は「壊れていても使用できてしまう」ケースが少なくなく、正常な状態なのか外観からではなかなか分かりません。お客様に安心して使っていただくためには「日常点検の実施」で早期に機器の異常に気づいてもらうことが必要です。故障や事故を防ぐことで「整備作業を止めない」ことも大事だと考えております。長く安心して整備機器をご使用いただくためには、日常点検（始業前点検）だけでなく、分解点検作業などの保守点検が必要になります。その際は、ぜひ安全自動車にご相談ください。

講師：安全自動車株式会社　マーケティング部　次長
鯵坂 伸一

エンジニアリーダーにインタビューしました

「整備機器講習会」を受講してみていかがでしたか？

今回の整備機器講習会を受講し、日々のメンテナンスがいかに重要か実感し、店舗で使用している機器のことをもう一度学び直そうと思いました。
また、エンジニアリーダーになって日が浅いのでメンテナンスを怠ることで起きる問題を具体的な例を踏まえて知ることができ、とても勉強になりました。

▲座学講習
実際に整備工場で発生した事故事例をもとに、整備機器の正しい使い方を学び、メンテナンスの重要性についての説明とリフト事故防止のDVDを視聴

▲エアコンプレッサー（パッケージタイプ）
オイルの量、劣化がないかなどをチェック。また水抜きが必要です。
エアコンプレッサーは日常的に目に入りづらい場所に設置されることが多いため、点検を怠らないよう注意

◀▼実機講習
パンタ式リフト
リンク部の軸やボルトに緩みがないか、油圧シリンダーにオイルにじみがないか、リフト上昇時に降下止め装置の作動音がしているかなどを実機を用いて日常点検を実施